

## 目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	認知症が進行し、自分の思いや意向を言えない方も多く、本人の思いや意向を聞けていない。	・職員1人1人が入居者の思いや意向を把握できるようにする。	・個別担当は毎月話を聞く機会をつくる ・職員同士で入居者の普段の言動などを共有し、本人の思いや意向をくみ取れるように務める。 ・本人からの思いや意向が確認できない時は、本人の普段からの様子と、ご家族と相談し、本人に寄り添った支援ができる。	6ヶ月
2	36	排泄の声掛けの際に、他の方に聞こえるように聞いたり、トイレのドアを締め切らずに排泄介助をしている時がある。	プライバシーに配慮し、本人を尊重した対応ができる。	・排泄の声掛けの際には、周りの方に聞こえないように声掛けを行い、トイレの扉はしっかり閉め、プライバシーに配慮した対応を行う。	6ヶ月
3	33	終末期において、家族とどう連携を図っていくか、又、施設はどこまで出来るのかを明確にし、家族、本人の希望に添うようにする事。	終末期に対して、職員一人ひとりが考え、向き合っていけるようにする。 また、終末期を向かえる上で、家人・医療との連携をスムーズに取れるようにする。	・施設の方針を明確にする。 明確にした上で、家族・医療面との協力体制を整える。 ・職員への終末期に対する考えをまとめる。施設で何ができるのかを職員と考える。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月